

公益財団法人 川西記念新明和教育財団
2024年度 私費 外国人留学生 奨学生募集要項

1 応募資格

- (1) 兵庫県内の大学に留学する、アジア諸国等からの私費外国人留学生で学業成績優秀な者で経済的援助の必要と認められる者。
- (2) 2024年4月以降に、大学院博士前期課程（修士課程）2年次、または大学院博士後期課程（博士課程）2年～3年次に在学する者。
（ただし大学院を有しない大学においては、3年～4年次に在学する者。）
- (3) 他の奨学金を受けていない者
- (4) 国際親善に理解を持ち、将来、日本と自国の発展のために貢献する意欲のある者
- (5) 日本語での意志伝達が十分に可能である者
- (6) 奨学生交流懇親会(年3回を予定)に出席できる者

2 応募に関するその他の留意事項

- (1) 経済的発展途上国(下記)からの留学生を優先する。
記：インド、インドネシア、ベトナム、タイ、マレーシア、ラオス、カンボジア、
バングラディシュ、フィリピン、モンゴル、パキスタン、ネパール、
スリランカ、ミャンマー

3 奨学金の額及び支給期間

- (1) 月額 5万円
- (2) 支給期間 2024年4月～2025年3月

4 募集人員：6名

5 応募申請及び推薦

- (1) 奨学金の支給を受けようとする者は、所定の期日までに、申請書（様式1号）に次の書類を添えて在学する大学の長（以下“学長等”という）に提出するものとする。
 - ア 成績証明書（前年度）
 - イ 外国人登録済証明書の写（在留資格「留学」が明記されているもの）
 - ウ 指導教員の推薦又はこれにかわるもの
- (2) 大学では、前項の申請があったときは書類及び面接等による選考をおこない、適格と認められた者について、前項の申請書類及び推薦状（様式2号）を添えて本財団に推薦するものとする。

6 選考及び決定

- (1) 募集期間： 2024年1月初旬～2024年2月29日
- (2) 選考： 当財団の選考委員会で審議し、2024年4月中旬までに決定する。
なお、必要があれば面接審査を行う。
- (3) 決定通知： 学長等を通じて本人に通知する。

7 奨学金の支給方法

- (1) 奨学金は原則として銀行振込みにより、本人に4半期毎に支給する。
- (2) 奨学金は返済の必要はない。

8 奨学金の支給の停止又は打ち切り

奨学生が次のいずれかに該当するときは、奨学金の支給を停止又は打切ることができる。

- (1) 病気その他の事由により在学する大学での就学を継続することが困難になったとき。
- (2) 奨学生の学業又は素行等の状況により、奨学生としての適正を欠くとき。
- (3) 当財団の奨学生としての名誉を傷つけたと認められるような行動をしたとき。

9 報告書の提出

奨学生は、当財団から要求があったときは学習の状況及び生活の状況について報告しなければならない。

10 その他

この募集要項について、不明の点があれば、下記財団事務所までお問い合わせ下さい。

【問い合わせ先】

公益財団法人 川西記念新明和教育財団 常務理事 福岡 久博
〒665-8550 宝塚市新明和町 1-1
Tel : 0798-52-1234 Fax 0798-56-5001
E-mail : fukuoka.h1@shinmaywa.co.jp

様式 1

公益財団法人 川西記念新明和教育財団 奨学金申請書

公益財団法人 川西記念新明和教育財団
 理事長 川西 康夫 殿

私は、本財団の奨学生として採用していただきたく
 下記の通り申請します。

写真

3ヶ月以内の
 もので上半身
 無帽

カガナ 1：氏名	性別 男・女 生年月日 (4/1 付年令)
2：英語名	国籍
3：現住所 〒	電話
4：母国住所	電話
5：入学決定または在学大学名 上記入学年月日	(2024年4月1日見込み) 博士前期(修士)課程 年 博士後期(博士)課程 年 (大学 年)
6：来日 年月日	
7：指導教員名	

8：学歴

学校区分	学校名及び所在地	専攻学科	入学 卒業年月
高校			入学 年 月 卒業 年 月
大学			入学 年 月 卒業 年 月
大学院 博士前期(修士) 博士後期(博士)			入学 年 月 卒業 年 月

9：職歴

勤務先及び所在地	勤務内容	勤務期間

(記入上の注意)

- (1) 原則として日本語で記入のこと。
- (2) アルファベットの場合は活字体を用いること。
- (3) 数字は算用数字を用いること。
- (4) 氏名、住所、大学名、専攻学科名等は、一切省略しないこと。
- (5) 年号はすべて西暦とすること。
- (6) 所定の欄に記入できない場合は、別紙を添付すること。

10. 本奨学金に応募する理由（具体的に記入して下さい）。

11. 日本への留学の目的と将来計画について

1) 留学の目的

2) 博士前期（修士）1年次、または博士後期（博士）1年次・2年次で特に研究したこと
また、修士論文や学会での発表論文等があれば記載して下さい。

（大学生の場合は、日本に留学してから特に学んだことや学内外での発表事例等があれば記載。）

3) 将来計画（日本と自国の発展のためにどのように貢献するか等も記載して下さい）。

12. 署名
